

みんなにエール!



3月定例会	
予算の審議	2
総括質疑	4
分科会委員長報告	6
議案の審議・賛否表	7
一般質問	8
広域組合議会	21
議会改革・トピックス	22
私のひとこと	24

おばなざわ 市議会だより 105号

令和2年5月1日発行

私のひとこと

まつざわ
松澤 望さんに
インタビュー



神奈川県小田原市から来て
いただいている地域おこし協
力隊の松澤望さん(23才)が
3月末で1年になり、隊員を
卒業し、すいか農家に成るた
め本市に定住すると聞き、イ
ンタビューしました。

すいか農家にオレは成る!!

- ①尾花沢に協力隊として来たきっかけは?
大学を卒業し、東京でサフリーマンになるより、果物のももが好きなので田舎で農業をしたいと思い、移住フェスタに行き、すいかの名産地尾花沢を知り運命的な出会いとなりました。(実は人気の山梨県南アルプス市は行列ができていて、空いていた山形県尾花沢市の説明がすぐ聞けて上手だったんです。)
- ②尾花沢の印象はどうでしたか?
田舎にしては近くに新幹線の駅があり、交通の便がよく、スーパーもあるの、便利な田舎、という印象です。人は優しく温かく、歓迎していただきました。小正月の愛宕神社の裸参拜に参加して、地域の方々の祭への熱い想いにふれ、新鮮な体験になりました。
- ③協力隊として学んだことは何ですか。定住を決めた理由は何ですか?
北郷、六沢、二藤袋など沢山の農家にお世話になり、すいか栽培を学んでいます。元々農業を専門にしたいと思っていたので、協力隊を卒業し、早く自立したいです。尾花沢の農業研修制度はとても手厚く有難いですね。
- ④これからの夢は何ですか?
すいか農家として一本立ちして、相応に稼ぐことが目標です。

インタビュー後記
都会から来て下さった松澤さんは、若武者の如く農業に果敢にチャレンジしていて感動しました。住まいは若葉町で、趣味はパソコンゲームのインドア派でもあります。農業に熱い想いを持つ松澤さんにエールを送るすにはいられません。

- 発行責任者
議長 大類 好彦
市議会だより編集委員
委員長 鈴木 清
副委員長 和田 哲
委員 塩原未知子
委員 伊藤 浩
委員 菅野 喜昭
委員 安井 一義
委員 鈴木由美子
- お詫びと訂正
議会だより104号のP16上の写真の文
落合優馬さん(寺内)を
落合優真さん(若葉町)に
訂正し、お詫びいたしま
す。

尾花沢市議会を
インターネットでも
ご覧になれます。

◇6月の定例会は
6月11日~19日
の予定です。

尾花沢市議会インターネット中継 [検索](#)



3月の定例会本会議
傍聴者数は9人でした。

発行/山形県尾花沢市議会 編集/市議会だより編集委員会

さらなる発展への新予算

総額
156億
4,077万円

一般会計
106億6,000万円

特別会計
49億8,077万円

区分	金額
国民健康保険	20億4,251万円
中央診療所	4億5,875万円
簡易水道	2億6,308万円
国営村山北部土地改良	55万円
農業集落排水	8,501万円
介護保険	19億2,933万円
後期高齢者	2億154万円



安心して子育てできるまち

- 放課後児童クラブ支援事業 4,571万円
- 学園構想などに係る資料作成 140万円
- 病児病後児保育事業の開始 762万円
- 児童生徒の学力向上対策事業 1,168万円
- 悠美館の照明LED化設計 410万円



いつまでも元気に暮らせるまち

- ふるさと暮らし応援事業 5,037万円
- 14人乗りの路線バス購入 435万円
- 有害鳥獣対策の充実 1,329万円
- 高齢者の社会参加促進事業 1,129万円
- 宮沢地区地域福祉交流センター整備 1,204万円

令和2年3月定例会は、3月3日から19日までの17日間の会期で開催されました。
令和元年度補正予算8件・令和2年度一般会計・特別会計予算7件、条例の一部改正・設定・廃止10議案、市有財産の無償貸付2件、いずれも原案通り可決しました。その主な内容を紹介します。

定例会のあらまし

令和元年度補正予算

一般会計	4億9,657万円を追加
特別会計	7,312万円を追加

令和元年度特別交付税額

6億7,483万円（前年度より約20%減）

「雪不足も
心配されましたが」



イメージ

活力のあるまち

- モジュラーパンプトラック設置 600万円
- 農業委員等報酬の能率給を加算 1,394万円
- 森林環境譲与税基金事業で林産業の活性化 441万円
- 花笠高原荘の屋根改修・給湯設備の設置 985万円
- レストラン徳良湖の改修設計業務 200万円



雪や災害に強いまち

- 除雪基地整備事業(旧明德小学校) 1,200万円
- 防災行政無線の個別受信機を導入 650万円
- 老朽化した新堰と幹線水路の長寿命化工事 1,983万円
- 鶴子六沢土地改良区内の基盤整備工事 640万円
- 道の駅尾花沢のリニューアルに向けた基本設計調査 100万円

総括質疑

最少の経費で最大の効果を!!

12名の議員
熱い議論

集落公民館
整備事業

Q 集落公民館修繕補助金48万円は前年度比4.5倍。その内容は。

(菅野修一)

A 元気な尾花沢を語る会で公民館修繕の要望が多い。人口減で戸あたりの負担が増しており集落の負担が大変になってきたとの意見を受け、修繕費を50%から70%に引き上げ自治会の負担を軽減した。

新生児聴覚
検査費助成

Q 出産後入院中に新生児が受ける、新生児聴覚検査の内容はどのようなものか。また事業の周知はどう行つか。

(小関英子)

A 先天性難聴などを早期発見し、早期治療、早期療育に結び付け経

区長謝礼

済的負担の軽減を図るため、新生児聴覚検査(AABR・OAE)に要した費用を助成する。市報などで周知を行う。

Q 町内選出の区長は、配布物の仕分けほか、町内の諸々な対応をして業務が増加している。謝礼を上げる必要はないか。

(安井一義)

A 近隣市町村と比較しても平均謝礼では6番目。個別謝礼は3番目となっており高い金額の設定となっている。

鳥獣被害対策

Q 農作物被害防止のため、模擬銃やバイオ弾、猟友会が着用しているベストなどの購入を市の補助事業で行った場合には、特別交付

バス事業

税で8割が交付される旨を伺った。国の支援策を活用して市民を助けてあげたいと思うがいかがか。

(星川 薫)

A 有害鳥獣の駆除に係る経費は、特別交付税の対象となることから、該当するものを申請する。

プログラミング
教育

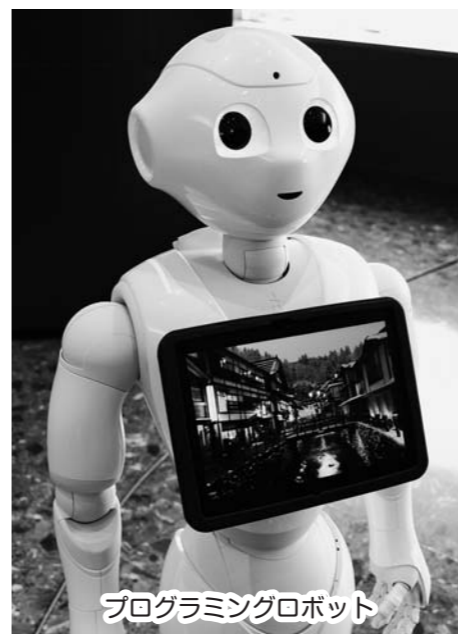
Q プログラミングロボットを導入との事、現在の学校無線環境で正常に動くのか。

(塩原未知子)

A また、地元出身者や専門講師と組み合わせ、学校以外での学びの場で活用できないのか。
A 2台レンタル予定で、モバイルWi-Fiで動くようにするため、教室以外でも移動学習や地域に開かれた授業にも活用することができ。



追い払い用モデルガン



プログラミングロボット

防災無線
個別受信機

Q 対象者が自主防炎会の会長となっているが、事業の目的である「難聴エリアの解消」からすれば、個人に貸与すべきなのではないか。

(伊藤 浩)

A 本来は一般個人への貸与が理想的だが、スタートする新規事業は、試行運用的な部分もある。先ずは防炎会長に貸与し、次年度から拡大していく。

国民保護共同
図上訓練事業

Q 「武力攻撃事態及び緊急対処事態に備え、国・県などと共同して図上訓練を実施」とあるが、どのような事業内容か。市民への参加要請はあるのか。

(鈴木 清)

A 13市の輪番で、令和3年1月本市の訓練事業となった。職員のみに参加で、市民参加はない。どこの国という想定はなく「国民保護法」にのっとるもので、内容は県と協議中だ。

花笠高原荘

ため、受診対象者を61歳に設定した。検診料金は無料とする。

Q 花笠高原荘の屋根・ボイラーは改修するようだが、床・壁は直さないのか。また、改修工事を行うという事は、事実上の事業継続なのか。

(鈴木裕雅)

A 緊急性の高いところから改修する。3年間の指定管理を行うので、3年間は継続する。



花笠高原荘御所乃湯

仙台市営バス
ラッピング業務

Q ふるさと納税を財源とした210万円が県外の業者へ委託し支払われることになる。より一層、費用対効果の検証が必要と考えるが、本当に経済効果はあるのか。

(和田 哲)

A 金額での検証は難しいと思われるが、仙台市でのPR活動として期待できると考えている。新デザインにも期待したい。



ラッピングバス

都市マスタープラン
策定業務

Q 業務委託料900万円、印刷製本費200万円は内部資料としては多額ではないか。業務内容の中に計画内容の比較や指導などは含まれるか。

(鈴木由美子)

A マスタープランの完成版、概要版各300部。市民へのお知らせ版5千100部印刷予定。定期的な比較検討、指導は業務には入っていない。しっかりとした内容を作成し、住みやすい街づくりに関われば決して多額ではないと考えている。

がん検診事業

Q 前立腺がん検診の検診料助成は、61歳となっているのはなぜか。

(菅野喜昭)

A 前立腺がんは、60歳以降の発症率が高い

議長 大類好彦
予算特別委員長 奥山 格
2名は役職の立場上
質疑はできません。

※1) 新生児スクリーニング検査 AABR(自動難聴脳幹反応)・OAE(耳音響放射)

予算特別委員会 分科会委員長報告

第一分科会 総務文教常任委員会

第二分科会 産業厚生常任委員会

財産管理費

公用車の長寿命化と緊急時対応のため、屋外駐車から屋内駐車への環境整備を検討することを要望した。

地域開発費

元気な地域づくり交付金の制度改正について説明を受け、今後も、集落行事などが継続可能な助成制度の検討を要望した。

プ自動車と、緊急通報システム業務委託の三者間同時通訳について説明を受け、これを了承した。

保育所費
病児病後児保育所は親しみやすい名称とし、市民へ早期に周知できるように要望した。

拡大を図るため、健康測定器の導入などの取組みを要望した。

機能強化に加え、気軽に利用できる環境整備に取り組みよう要望した。

広報費

市PR用映像などの作成業務委託は、市民から協力を得ながら、尾花沢らしい映像作成に取り組みよう要望した。

ふるさと尾花沢応援基金事業費

インターネットを利用した効果的な手法を検討していくことを了承し、寄付の呼びかけは、市民が協力できる方法を検討されることを要望した。

社会教育費

文化財専門員の任用や、芭蕉・清風歴史資料館から養泉寺までの案内表示について説明を受け、これを了承した。

子育て支援対策費
新型コロナウイルスの流行もあり、子ども達が安全に利用できる対策を講じること。また、新たな放課後児童クラブを整備する際には、避難動線の確保など、安全に十分配慮して計画するよう要望した。

農業委員会費
農業委員などの能率給の支給方法について、活動記録簿に基づき、農地利用最適化に関する活動が支給対象となるので、活動実績に依り適正な運用が図られるよう要望した。

林業総務費

近年自然災害が多発しており、被害を未然に防止するため、森林環境譲与税を活用し、森林整備を計画的に実施されるよう要望した。

住宅管理費

特定公共賃貸住宅の入居促進を図るため、一部用途を廃止し、市独自の住宅として運用を検討している旨の説明があり、これを了承した。

健康増進事業費

がん検診の受診率向上を図るため、各年齢層に応じた周知活動を実施し、健康増進に努められるよう要望。また、上柳健康増進施設は、更なる利用者数の

土木費

道の駅尾花沢のリニューアルにあたっては、観光情報発信や、防災



交通安全対策費
高齢者運転免許証自主返納報償費について詳細な説明を受け、さらなる制度の周知に努められよう要望した。

消防費

更新予定の消防ポン

3月定例会議案の審議 (議員の賛否表)

議案番号	採決の結果	議員の賛否													
		菅野修一	星川薫	菅野喜昭	安井一義	大類好彦	奥山格	青野隆一	鈴木由美子	和田哲	小関英子	塩原未知子	伊藤浩	鈴木裕雅	鈴木清
議第1号 令和元年度尾花沢市一般会計補正予算(495,314千円を追加し、総額12,989,596千円とする)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第2号 令和元年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定に11千円を追加し総額2,130,019千円とし中央診療所施設勘定より11,900千円減額し総額387,814千円とする)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第3号 令和元年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(15,977千円を追加し、総額259,847千円とする)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第4号 令和元年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計補正予算(1,522千円を追加し、総額2,072千円とする)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第5号 令和元年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計補正予算(3,691千円を追加し、総額74,371千円とする)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第6号 令和元年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(32,891千円を追加し、総額2,075,579千円とする)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第7号 令和元年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(7,128千円を追加し、総額204,863千円とする)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号 令和2年度尾花沢市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号 令和2年度尾花沢市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第10号 令和2年度尾花沢市簡易水道特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第11号 令和2年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号 令和2年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第13号 令和2年度尾花沢市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第14号 令和2年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第15号 尾花沢市監査委員条例の一部を改正する条例の制定について(地方自治法の一部改正に伴い条例の整備を図る)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号 尾花沢市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について(成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行及び一部改正に伴い条例の整備を図る)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号 尾花沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い条例の整備を図る)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号 尾花沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(農地利用最適化交付金を能率給として支給するための条例改正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第19号 尾花沢市水道給水条例の一部を改正する条例の制定について(水道法の一部改正に伴い条例の整備を図る)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第20号 尾花沢市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について(介護保険法施行令の一部改正に伴い条例の整備を図る)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第21号 尾花沢市徳良湖周辺施設等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(徳良湖周辺施設等における指定管理者の主体的取り組み「利用料金の変更等」を推進し、市民福祉の向上を図るための提案)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第22号 尾花沢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(災害弔慰金の支給等に関する法律及び災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の一部改正に伴い条例の整備を図る)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号 第8次尾花沢市ふるさと暮らし応援条例の設定について(本市への定住と移住を促進するために提案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第24号 尾花沢都市計画事業中新田地区区画整理事業施行条例を廃止する条例の設定について(事業完了に伴い、条例を廃止するため提案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第25号 市有財産の無償貸付について(農産加工)(尾花沢農産加工有限公司の経営改善計画に基づく経営立て直しを支援するために、土地建物無償で貸付するため、提案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第26号 市有財産の無償貸付について(旧荻袋小学校)(空き公共施設を有効に活用して地域の活性化と雇用機会の拡大を図るために、旧荻袋小学校を無償で貸付するための提案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第27号 令和元年度尾花沢市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



しおばら みちこ
塩原未知子 議員

自治体新電力で 防災対策と地域活性化を！

市長…官民あげて自然エネルギー推進
を目指す

問 災害が多発する今、「エネルギーの地産地消」「供給基地」が求められる。全国で、自治体や集落が立ち上げる電力会社が多くなった。新庁舎建設で令和の時代にあつた見直しが必要ではないか。

答 新庁舎の雪冷房、木質バイオマスボイラーなどに加え、村山北部土地改良区では新鶴子ダムの発電をやまがた新電力に使用させている。見直しが必要と考えている。その他、民間事業者による宮沢地区の

大正ロマン 次世代エネルギーパーク

「エネルギーの地産地消」「供給基地」が求められる。全国で、自治体や集落が立ち上げる電力会社が多くなった。新庁舎建設で令和の時代にあつた見直しが必要ではないか。

問 湖畔に「雪の資料館」や「美術館ギャラリー」など通年立ち寄れる場所を作ってはどうか。また「花笠踊り資料館」はもっと歴史的重みを感じる展示が必要。資料館を移転し、管理棟などはアクティブに活用し、冬キャンプを再開すべきでは。

答 徳良湖マスタープランにもとづき、レストランのリニューアルと湖畔に花畑を整備する。また、除雪ボランティア活動の取り組みなどを空き公共施設を活用して展示したいと考えている。花笠踊り資料館はもつと目につく場所を検討する。

徳良湖築堤100周年

小水力発電や宝栄牧場の風力発電などもこれから予定されており、今後官民あげて自然エネルギー推進を探求していく。

公文書保全

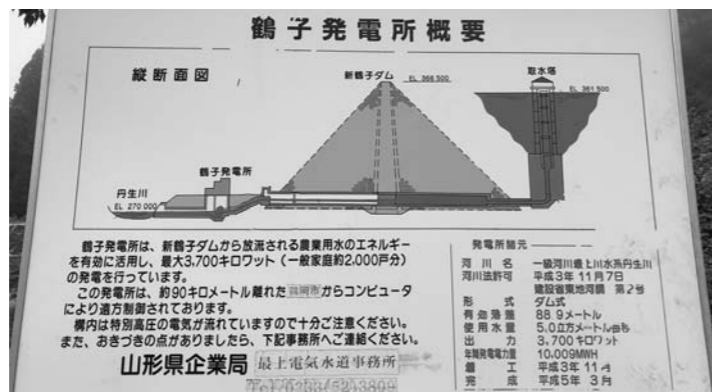
問 働き方改革、人事異動、資料の劣化を防止するため過去資料を整理し、デジタルデータ化して開示すべきではないか。また、保存年数はそれぞれ違う今後の選別と保存はどうするのか。

答 尾花沢市文書管理規程に基づき紙ベースで保存している。今後は複数の視点で、貴重な映像や写真は必要な時にタイムリーに出せるよう工夫し、国の文書管理も見ながらデジタル化に向けて検討していく。

少雪対策

問 記録的な少雪で、人・モノ・金が回らない。特に、春からの農業の水不足が心配される、対策はいかに。

答 スキー場は稼働率3分1。花笠高原荘は2割減。除雪事業社の稼働

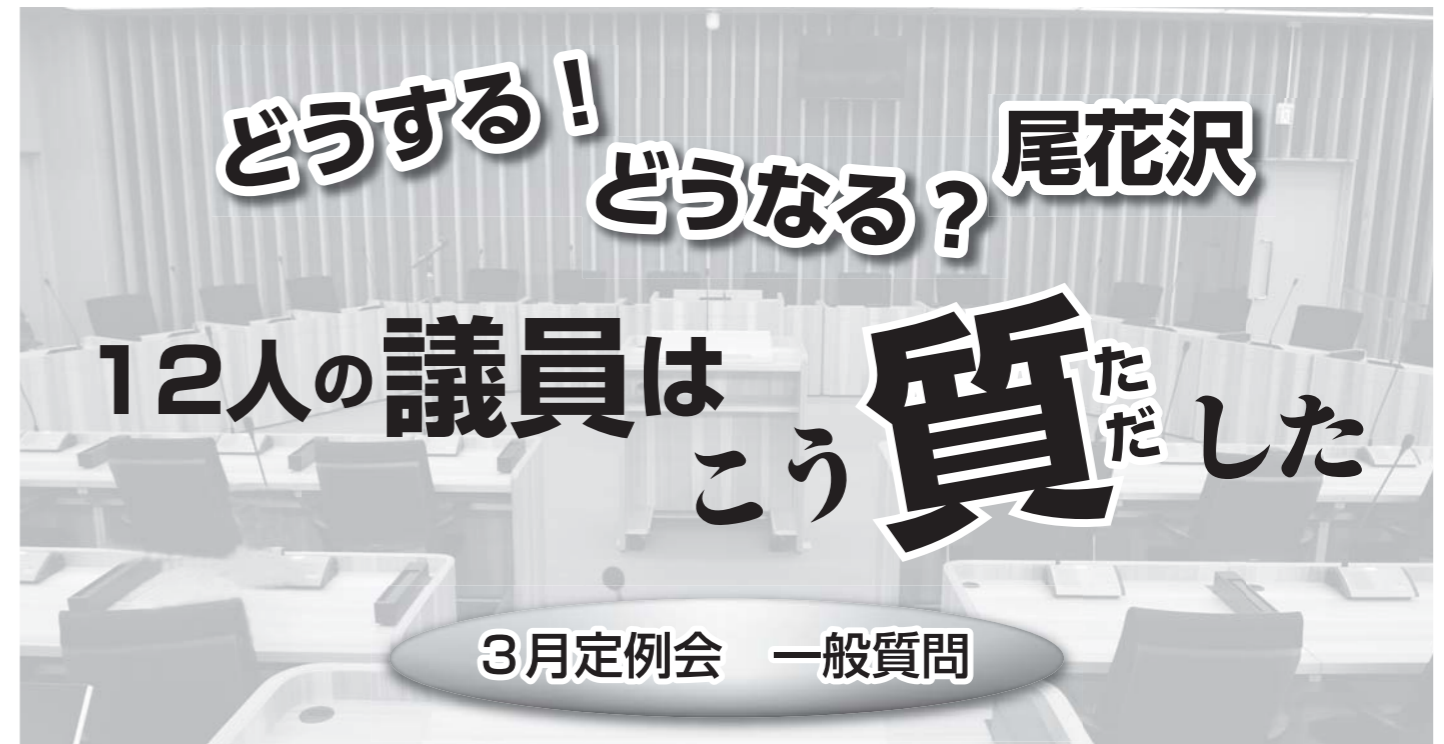


おばねは再エネの宝庫！電力100%自給も夢じゃない！



つばやき…

日数も少ないため待機補償支援を今冬は考えている。その他、農業分野などでも必要に応じて情報提供し対策をしていく。



○囲み数字が掲載

塩原未知子	① 尾花沢市次世代エネルギーパーク ② 徳良湖築堤100周年 ③ 公文書保全に関して ④ 記録的な少雪対策	安井一義	① 宝栄牧場の利活用推進 ② 診療所と公立病院の負担金 ③ 都市計画策定
鈴木由美子	① 尾花沢市国際交流協会 ② 就職氷河期世代と地元出身者への就職支援 ③ ご意見箱の設置	鈴木裕雅	① 学園都市構想と学園構想 ② 農業の今後の在りかた ③ 河川整備 ④ 空き家対策
青野隆一	① 第7次総合振興計画の策定 ② これからの学校統合の進め方	鈴木清	1 保育行政 ② 小・中学校の統合、建設場所(形態) 3 高すぎる国民税の軽減を
伊藤浩	① 学校統合計画と保育園の在り方 ② 鳥獣被害対策 ③ 防災・防犯対策	菅野修一	① 本市農業の振興 ② 本市の地球温暖化対策は ③ 「雪まつりは2月中旬にしては」と提言したい ④ 病児病後児保育事業の概要
星川薫	① 都市マスタープランの策定 ② 小・中学校建設の今後の進め方	菅野喜昭	① 防災情報ガイドの周知・徹底 ② 尾花沢市住宅関連補助事業
小関英子	① 防災・減災対策の拡充 ② 「気象非常事態宣言」を宣言してはどうか ③ 生涯元気づくりポイント事業の継続 ④ 耕作放棄地の対策拡充 ⑤ 食品ロス削減の推進	奥山格	① 連携中枢都市圏構想 ② 尾花沢市まちづくりアンケートの調査結果から



あおのりゅういち 青野 隆一 議員

小規模校のデメリットは何か？

教育長…学校規模による学力の差は見当たらない

問 どう進める統廃合

問 わずか6年間で11校が閉校になった。地域コミュニティなどどのような影響があるのか。

答 学校の閉校は、地域の活性化に関して少なからず影響を及ぼしている。地域の行事を大切にしながら、地域の活性化や子どもたちの健全育成に向けて取り組みたい。

問 小規模校の強さを生かした教育が、全国で成果をあげている。ICTやスクールバスを活用した他校との合同授業の実施や、GIGAスクール構想

答 小規模校の強さを生かした教育が、全国で成果をあげている。ICTやスクールバスを活用した他校との合同授業の実施や、GIGAスクール構想

問 今後の統廃合について、地域との話し合いをどう進めていくのか。

答 第7次総合振興計画や都市計画マスタープラン策定とともに、提言

問 小規模校から中学校に進学するときに不登校が急激に増加する『中1ギャップ』の克服についてどう考えるか。

答 小中の連携を一層深め、中学教員が小学校を訪問する出前授業を実施したい。

問 小中学校から中学校に進学するときに不登校が急激に増加する『中1ギャップ』の克服についてどう考えるか。

答 小中の連携を一層深め、中学教員が小学校を訪問する出前授業を実施したい。

未就学児(0~6歳児)の推移

年度	宮沢	玉野	常盤	福原	尾花沢	全体
平成22年度	93	102	106	157	482	940
平成26年度	73	87	99	166	498	923
平成31年度	69	78	84	160	509	900
増減	-24	-24	-22	3	27	-40

平成22年度に宮沢、玉野、常盤地区にいた未就学児301名の内、9年間で70名が地元を離れた。3名は福原、27名は尾花沢に移り、40名は市外へ転出した。

内容を踏まえつつ、地域の意見を聞いていきたい。

空き教室の教で統廃合を決めるな！



つぶやき…

問 市民が一緒に暮らせるまちづくり

問 あらゆる世代の市民が一緒に暮らせるように、教育、介護、医療、福祉を一体化したエリア(保育所、学校、中央診療所、市営住宅、ケア付き高齢者専用住宅、ミニ特老など)の整備を進めるべきではないか。

答 住居や福祉施設、商業施設などを集中して配置することで、買い物難民や孤独化の解消、行政サービスの経費削減なども期待される。多角的な視点で施策を考えたい。

英語力の向上のためにも国際交流を!!

市長…交流活動を行っている団体や企業に対し積極的な支援をしていく



すずきゆみこ 鈴木由美子 議員

尾花沢市国際交流協会

問 現在の活動は、おぼなざわ花笠まつりのパレード参加のみと聞いているが、現状と今後の運営方針をどうするのか。

答 自主事業存続も難しい状況にあり、会の役割を再度明確にする必要がある。現在の組織は各種団体の代表者から構成されており、実務に携わる方が不在である。今後、国際交流にかかる事業を推進するためには、協会運営に積極的に関わっていただける方を中心に、組織の再構築が必要であると考えている。

尾花沢市学校教育検討委員会

問 尾花沢市学校教育検討委員会より「英語力の向上に力を入れた教育の推進にとどまらず、海外とのつながりがある市を目指すなど、尾花沢ならではの教育として発信できるような検討されたい」とあるがどのようにして英語力の向上の教育をされていくのか。

答 まずは授業の充実が第一であると考えている。小学校の英語の教科化をスムーズに進めるため先生方の簡易な授業研修会を実施した。また、イングリッシュキャンプや英語検定の受験料助成も継続し、小・中学校間の連携も充実させて行きたいと考えている。

問 異文化交流の中から英語でコミュニケーションをとるためのには、自分ごと地域の自然文化を自ら学び相手に理解してもらうため、語学や地域社会の学習意欲向上につながるのではないかと考える。

氷河期世代への就職支援

問 社会参加に向けて、心のケアが必要な場合などより丁寧な支援をし、本市でも総合的に就職支援をすべきと考えるがいかがか。

答 尾花沢市社会福祉協議会にお願いし、尾

問 市民が待ち望んでいるが、どのように進んでいるのか。

答 4月から市役所及び各地区公民館に設置し、今後の政策立案の参考にさせて頂ければと考えている。

また地元企業の海外取引先からの交流先の紹介など、連携教育を積み重ねることにより地域が活性化していくと考えるがいかがか。また、こども議会で尾花沢小学校6年生からも同様の提案があり、第6次総合振興計画後期にも掲げてあるのが希望と目標を叶えるべきと考えるがどうか。

答 ご指摘の通りですが、英語教育の充実については授業の充実を中核に取り組んでいきたい。地元企業との連携については、こどもの成長が尾花沢の成長に結びつくようなグローバルな人材育成に努めたい。

ご意見箱の設置

問 市民が待ち望んでいるが、どのように進んでいるのか。

答 4月から市役所及び各地区公民館に設置し、今後の政策立案の参考にさせて頂ければと考えている。

尾花沢の方向性を決めるためにご意見箱を利用してね!



つぶやき…



ほしかわ 星川 薫 議員

小・中学校建設を どう進めていくか

市長…地域や保護者の意見を聞き 1年半後に結論を出す

問 都市計画に関する各種情報を電子データ

として活用しているのか。また、提言の内容は「都市計画マスタープラン」の策定にも関わる内容も含まれるのか、各地区での話し合いの中で意見を聞きながら進めていきたい。

答 検討委員会・幹事会において十分に評価・検証し新計画策定に活用すると共に、現状を把握するため、各種統計データや基礎調査データ、庁内資料などを収集、整理、分析し進捗状況及び将来を見通し、第2次都市計画マスタープランを策定していく。

都市計画マスタープラン

問 現行の都市計画マスタープランの解析や評価、検証はどのように行われたか。

答 検討委員会・幹事会において十分に評価・検証し新計画策定に活用すると共に、現状を把握するため、各種統計データや基礎調査データ、庁内資料などを収集、整理、分析し進捗状況及び将来を見通し、第2次都市計画マスタープランを策定していく。

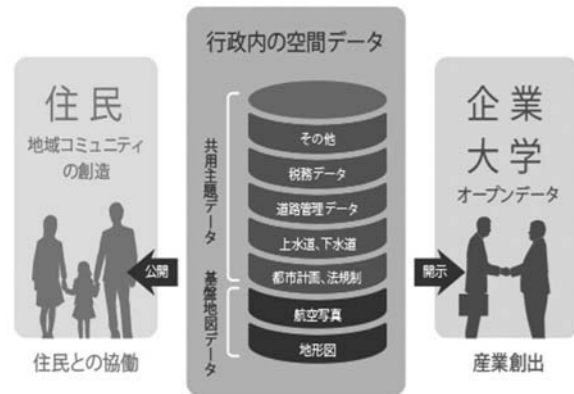
小・中学校建設計画

尾花沢市総合教育会議では、教育委員会

として扱うことにより、検算、集計、分析などの都市計画業務の効率化・高度化を図るため、統合型GISを導入してはどうか。

答 庁舎内の遅れは否めないと、研究しなければならぬと思う。議員所有のアイデアなど、知識をぜひ反映させていきたい。

行政における空間データの活用



子どもたちの将来のため、闊達な議論をしないで



つぶやき…

が、ホームページには掲載していない。

問 現在、市長部局より「学校予定地」や「各地区小学校の統合や存続」など話は出ていない状況にあるが、市長が掲げる学園都市構想に向け、市長の思考や進捗状況を伺う。

答 学校統合に関する事案については、教育委員会や総合教育会議においても「地域や保護者の意見を十分聞きながら進められたい」との意見を頂戴しているとおあり、関係者の方々と共通認識を築きながら進めていく。

学園都市構想の 将来の姿は!!

市長…中学校との連携も視野に入れていく



いとう ひろし 伊藤 浩 議員

学校統合計画と 保育園の在り方

問 学校教育検討委員会の答申内容に対して、今後の取り組みをどう考えているのか。

答 学園都市構想は、想定を超える少子化の中でも、学校が機能を最大限に発揮できる事を狙っている。保育園と小学校、そして中学校までも視野に入れた計画として土地情報なども加味しながら検討したい。また、提言の内容は「都市計画マスタープラン」の策定にも関わる内容も含まれるので、各地区での話し合いの中で意見を聞きながら進めていきたい。



4月開所の認定こども園

問 公立保育園の新築計画は、状況によっては見直しをしなければならないのではないか。

答 市全体の保育所の在り方について明確にしていく必要がある。「統合や再編」「多様化する保育ニーズへの対応」などの課題を「尾花沢市保育施設未来予想図検討委員会」の中で保護者へのアンケート調査などを行いながら議論を深めていきたい。



鶴子小学校の大根栽培活動

問 「地域と共に歩む学校づくり」の提言を、4月から統合される鶴子小と玉野中にはどのように関わりを持たせていくのか。

答 現在両校で行っている地域に溶け込んだ活動については、基本的に今後も継続したい。また、旧校舎を地域活動の拠点として活用し、地域活性化や子ども達の健全育成につながる活動を支援して行きたい。

「命」は個人情報よりも大事ですよ。



つぶやき…

鳥獣被害対策

問 12月定例会で提言した猟友会への報奨金制度が予算化されているが、概要は。

答 毎年11月から3月までの狩猟期間において、イノシシの狩猟実績に応じて報奨金を交付したいと考えている。

防災対策

問 災害時の要支援者の避難支援には防災組織と消防団の連携が必要不可欠と考えるがどうか。

答 地区の区長さんや民生委員の方と消防団が情報を共有する事は可能と考える。今後、会合の中で展開したい。



やすい かずよし 議員
安井 一義

宝栄牧場の利活用推進は

市長…草地改良に努め、増員も計画する

問 市内和牛肥育頭数が増加しているにも関わらず、牧場利用頭数が減少していることについて原因をどう考えているのか。牧場で管理する牛が増えた際、牧夫確保に対応できるのか。

答 牧場は観光資源として活用しては。本市以外の利用はあるか。繁殖飼育は、種付けや分娩など飼育が難しく、繁殖農家が減少し、JA和牛繁殖センターが閉鎖され、平成28年度には利用頭数51頭まで減少した。飼育牛は、多頭飼育技術が確立された事により過去30



宝栄牧場

年で約3倍に増加し、県内一の和牛肥育の産地となる。草地改良し、良質な牧草の育成に努めたい。牧夫については、1名増員する計画だ。観光資源調査を実施し、高いポテンシャルを持っているとの報告を受けているが、ハード面の整備が新たに必要。家畜伝染病などの防疫体制にも十分に配慮が必要だ。本市以外からは村山市、大石田町、舟形町の方がいる。

問 診療所への繰出金と公立病院への負担金は、具体的にいくらか。また、負担金の増加の原因は何か。負担金を軽減しても、十分な医療設備の維持や健康増進が図れると考えるか。

答 公立病院の負担金は8千407万1千13円、負担増の原因は、負担割の見直しによるものだ。今後も財政支援し、北村山唯一の基幹病院を支援していく必要があると考えている。中央診療所の繰出金は、1億1千570万1千円になり患者数の減少と19床あるベッドの利用率が低いことが主な原因。あり方検討委員会の中で議論を進め方向性を示したい。

診療所と公立病院

問 計画に対する成果や評価としてはどのようだと考えているか。市民の意見を取り入れるための方針は。

答 成果や評価については十分検証し、問題を整理し次期マスタープランに盛り込み策定していきたい。意見収集に努め、計画に反映させていく。計画見直しは、市民に周知し意見を頂戴しながら見直しを図りたい。

都市計画策定

子どもと高齢者以上に現役世代も元気になるべき



つぶやき…



こせき えいこ 議員
小関 英子

「気象非常事態宣言」を宣言すべき

市長…意識高揚に意義や実行性を検討したい

問 近年、異常気象による豪雨で災害が発生し、災害復興工事が完了前に、再び災害が発生している。気象変動・防災など持続可能な世界を残すために、今出来ることから始める意識づけの必要があるのでは。

答 昨年の秋の豪雨災害、今冬の少雪など環境保護や災害に対する市民の意識高揚を図るには、丁寧なプロセスが重要であるため「宣言」の意義や実行性を検討したい。

女性の視点で避難所設置

問 避難所になつていない公民館や体育館で、プライバシーを守り、着替えや傷の手当てができる救護テントなどの設置の考えはあるか。

答 避難所での滞在が容易なテントやパーティションの備蓄や物資調達協定の締結など検討していく。

問 昨年の豪雨災害時、避難所が設置されたが、今後のための聞き取りはできているか。毎回総括すべきと考えるが、改善されたことはあるか。

答 当時の避難行動をふり返り、課題を総括し今後の避難行動、避難所機能強化に反映していく。指定避難所に簡易トイレの配置を予定している。

食品ロス削減

問 宴会などで食品ロス削減のため「30・10運動」の見える化の推進をどうするか。

答 県の取り組みを参考に、関係団体と意見交換し、食品ロスに関心を寄せる取り組みを図っていく。

生涯元気づくりポイント事業

問 平成27年度から開始された生涯元気づくりポイント事業の対象事業数と参加者の延人数の推移は。また、今後の継続でアプリ活用の考えはあるか。

答 平成27年度対象事業152事業・参加者数4千380人。平成30年度からは花笠マラソンなど対象事業の拡大をし337事業・参加者数1万2千892人と増加している。事業継続でアプリ活用は課題がある。

宇宙船「地球号」みんなで顔晴ろう!!



つぶやき…



健康教室



鈴木 清 議員

小中一貫校統合は問題があり反対だ！

市長…学校の形態は市民の意見を聞き考えたい

小・中学校の統合

問 全国で、〇〇学園・〇〇義務教育学校の名前で、小中別々の統合でなく、小中一貫校の統合が政策により進められ、問題点が様々指摘されている。小学校は、地域コミュニティの重要性から、可能な限り各地区に一校残り、その後改めて統合について考えるべきではないか。また、統合について今後どのように住民の意見を聞きまとめしていく考えか。進め方は、市民参加・情報公開・教育委員会の資料提示、民主的で透明性のある議論にしたい。どうだろうか。

答 現在各地区一校の小学校だが、「出生数・学級数などの激減により、令和8年度に市内一校にすることが望ましい」というのが学校教育検討委員会の提言だ。今後、第7次総合振興計画や都市計画マスタープランの策定に向け、各地域で話し合いの場を設け、意見をお聞きしたいと考えている。

建設場所・形態

問 建設場所の課題として、小中一体型の学校も検討されているが、その場合の教育的メリット・デメリットをどう考えているか。

答 小中一体型の学校は、校舎・施設の面では「小中併設校」、教育活動の面では「小中一貫校」となる。



鈴木 裕雅 議員

将来的な学校のあり方は

市長…保育所と小学校を一体的に整備する

「学園都市構想」と「学園構想」の違いは

問 「学園都市構想」と「学園構想」の違いはなにか。

答 教育環境の向上に焦点をあてた施設整備を「学園構想」と位置づけ、「学園都市構想」とは学園を核とした「まちづくり」を指している。

学校整備について

問 学校整備について、1年半かけて議論の答えを出すとされているが、市長の意見はいつ公表するのか。

答 皆さんの声を聞いて判断したいが、老朽化した尾花沢小学校舎の問題と合わせて考えていきたい。



老朽化した尾花沢小学校



増える中山間の遊休農地

今後の農業のあり方

問 中山間地での農地集積、集約は行うのか。

答 農地を担い手に集めるを得ない。集落営農など人・農地プランの中で話し合い、地域に合ったあり方を考えていきたい。

未来を見据えた「まちづくり」が今後のカギ



つぶやき…

空き家を活用するために

問 空き家バンクの登録数が伸びないことが課題。解決のために司法書士会や行政書士会、宅地建物取引士、土地家屋調査士などの連携協定を結ぶべきではないか。

答 各種会と連携すれば問題解決に繋がるものと考えている。

問 中山間地での農業所得400万円を確保するための品目・面積など、どの様に試算しているのか。

答 全体の試算はしているが、中山間地での試算はしていない。

デメリット	メリット
<ul style="list-style-type: none"> ● 6・3制→4・3・2制学年区分 ● 小6の最高学年としての意識が育たない ● 「中学生の幼稚化」 ● 小・中学校の調整が必要なため職員会議が長引く ● 授業、休み時間が合わない ● 普通教室以外の利用に支障が出る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「中1ギャップ」が解消 ○ 教員の小中相互乗り入れ授業が可能 ○ 教員同士の情報交換

子どもたちが主役になれる学校建設を



つぶやき…



菅野 喜昭 議員

防災情報ガイドの市民への周知・徹底を

市長…工夫をしながら周知に努めている

問 12月の一般質問の答弁で、「防災情報ガイドの内容について市民に周知していく」とあったが、その進捗状況はいかがか。

答 地区の代表区長会の際にお邪魔して、周知を図った。12月12日には、毒沢地区において「ハザードマップ作成ワーキング」を開催するなど、工夫をしながら周知に努めている。新年度は、「防災危機管理室」を設置、専任の職員を配置し、地域に向き防災情報ガイドの周知に努め、地域防災力の向上を図っていく。

問 新設の防災行政無線の設置や整備計画は、現在どうなっているのか。また、個人受信機を設置するとのことであるが、対象地区や時期はどうなっているのか。

問 市内の避難所の中には、警戒区域に含まれている避難所や警戒区域に近い危険な場所にある避難所もある。

答 より安全な場所に避難所を設置するため、避難所の見直しをすべきと考えるが、いかがか。

答 土砂災害警戒区域内の避難所については、がけ崩れなどの災害が危惧されるため、避難所としての「否」とし、災害種別ごとの適否を表示するなど、指定避難所の見直しも進めてきた。避難所指定のあり方については、今後とも避難区域の自主防災会の意見も聞きながら、継続して検討していく。

答 市では「ふるさと暮らし応援条例」を制定し、克雪住宅の建設や消融雪装置に対して、設置費用の一部を助成するなど、居住環境の充実を図っている。

問 住宅の雪関連の事業について、家庭用除雪機械の助成補助率が10%（5万円限度）となっているが、この限度額を外し一律10%にできないのか。

答 市では「ふるさと暮らし応援条例」を制定し、克雪住宅の建設や消融雪装置に対して、設置費用の一部を助成するなど、居住環境の充実を図っている。

住宅関連補助事業

問 防災行政無線の整備は、今年度は地権者との調整が遅れ、令和2年度に屋外拡声子局の新設が5か所と既設の子局1か所に入ピーカーを増設する。次に個別受信機については、貸与対象世帯は、令和2年度は自主防災会長宅を考えている。

豪雨災害など発生する前に防災情報ガイドの内容を周知・徹底しなきゃ



つぶやき…



菅野 修一 議員

本市農業の振興には、家族経営農家の支援も大切では

市長…第7次総合振興計画で支援策を反映させたい

本市農業の振興

問 担い手や認定農業者とともに地域農業を担う家族経営農家へも支援策を講じてはどうかか。

答 国・県の補助事業採択要件は、人・農地プランの中心的経営体などで助成対象者のポイント制であり、家族経営には厳しい。

市では、第7次総合振興計画で、持続可能な農業に意欲ある家族経営農家ほか地域全体で営農や農地保全などの取組に対し、支援を反映させていきたい。

問 耕作放棄地は、3年も経過すると柳や葎が繁茂し、害獣や病害虫の棲み処と化して地域農業環境上悪影響を及ぼしている。そこで、多面的機能支払交付金を活用しての刈払い活動はできないか。さらに、リモコン操作で刈払う機械「自動萱刈スマート」が開発されているが、これを導入することは可能か。

答 多面的機能支払交付金を活用した刈払いは協定農用地に位置付けた農地及び農業用施設に対する共同活動が対象となるが、単なる刈払いのみの活動は、耕作可能な状態の維持にならないので交付対象外となる。

交付金を活用して機械を購入することは認められているが、交付金事業以外で使用することはできないので、購入を検討されている活動組織があれば、事前に農林課に相談してほしい。

荒廃農地の管理

問 本市第2次環境基本計画では市域からのCO2排出量を継続して把握していくこととしている。近年の排出量の動向はどうかか。

答 経済産業省の統計によると、平成17年度は年間14万1千t、平成27年度は12万3千tとなっており、約15%の削減になっている。

本市の地球温暖化対策

問 東根市は今年1月にCO2排出量をゼロにするゼロカーボンシティを2050年と表明した。本市はどうかか。

答 本市は「尾花沢市環境基本計画」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでいる。市民、事業者、行政が一体となり、当該計画に定められた具体的な取組を推進していきたい。

問 東根市は今年1月にCO2排出量をゼロにするゼロカーボンシティを2050年と表明した。本市はどうかか。

答 本市は「尾花沢市環境基本計画」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでいる。市民、事業者、行政が一体となり、当該計画に定められた具体的な取組を推進していきたい。

ゼロカーボンシティの宣言を高らかに表明してほしかった。真に残念。



つぶやき…

病児病後児保育事業

問 本事業が令和2年度に着手すると表明された。概要を伺いたい。

答 設置場所は、尾花沢幼稚園の園舎を借りたい。耐震構造も問題はない。開所時期は、7月下旬頃を目途にし、定員は2名を想定。職員は、看護師・保育士の各1名をおもたか保育園から派遣する体制にしたい。医師は市内の開業医に協力をお願いしている。対象年齢、利用料金、受け入れ要件など詳細については今後検討していきたい。



おくやま きわむ 奥山 格 議員

山形連携中枢都市圏について

市長…その目的が達成しうる連携事業が見いだせれば本市にとってメリットがあると考え

山形連携中枢都市圏

問 現在山形市が中心となつて村山管内の6市6町がこれに参加し、最後に本市と大石田町の参加が問われているが、連携中

枢都市圏構想とは何か。また連携中枢都市圏に参加した場合のメリットは何であり、どのような課題があると考えているか。

答 連携協約に関する規定によれば、圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化、圏域全体の生活関連機能のサービスの向上に関する取り組みを相互に連携して実

施することにより、人口減少・少子高齢化にあつても、活力ある社会経済が維持され、一定の圏域人口を有し、住民の暮らしを支えることが可能な魅力ある圏域を形成することを目的としている。

4月からの協議を通じて、この目的を達成しうる連携事業が見出せれば、本市にとってメリットがあると考え。しかし、本市と山形市は遠距離にあることが問題と考えている。

問 当初本市と大石田町が除かれていたのはなぜか。

答 国が定める要綱には連携中枢都市圏と連携する市町村は、経済的結びつきが強い、通勤・通学割合が0.1以上である市町村であるが、本市と大石田町はこの要件を満たさなかつたからである。しかし、首長からなる推進会議において、7市7町で連携するのが望ましいという意見が出され、

山形市長より参加について打診があつた。

問 連携中枢都市圏の目的の一つにコンパクト化とネットワーク化による高次の都市機能の集積・強化があるが、本市の公的施設や民間施設・事業の統廃合が行われるのではない

か。
答 山形連携中枢都市圏は、お互いの市町に恩恵のある取り組みを基本的な考え方として、各市町の既存の公的施設や民間の施設、事業の相互利用や連携については、検討をしているものの、統廃合について議論する場ではないことを確認している。

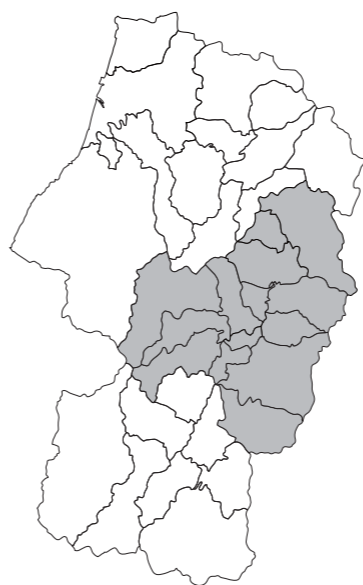
圏域内の中心都市に機能が集約されてしまうという心配があるようだ？



つぶやき…

問 連携協約を締結した場合、本市ですで行っている環境衛生事業組合や消防、北村山公立病院など広域行政の維持運営をスムーズにしていけることができるのか。

答 今後こうした広域行政の枠組みを継続することを前提として連携中枢都市圏の取り組みを進めることを確認している。



広域事務組合議会の報告

北村山広域行政事務組合議会

3月23日、村山市議会議場にて定例会を開き、令和2年度一般会計予算9千761万2千円と、3市1町の負担金を原案通り可決した。

市町名	負担金
尾花沢市	1,675万1千円
村山市	2,771万5千円
東根市	3,311万7千円
大石田町	992万0千円
合計	8,750万3千円

北村山公立病院組合議会

3月24日東根市議場で開催され、令和2年度組合事業会計予算、3市1町負担金の額、監査委員条例の一部改正など7議案を上程し、いずれも原案通り可決した。

会計予算は、入院患者数を8万6千140人、外来患者数を10万2千60人とし、病院事業収益を55億1千114万円、病院事業費用を58億549万円とするものである。主な建設改良事業としては、マルチスライスCT装置などの購入、また外来エリア改修工事などを行う。

令和2年度3市1町の負担金は下記の通りです。

市町名	負担金
尾花沢市	1億4,588万円
村山市	2億8,661万円
東根市	4億8,763万円
大石田町	6,353万円
合計	9億3,365万円

その他、一定の非常勤職員に育児休業の取得を認める条例改正、消化器内科を設置する条例改正などを可決し、また病院事務長の任期満了に伴い清野敬信氏（東根市）を再任することに同意し、閉会した。

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

3月24日に定例会を開催し、令和2年度各会計予算など10議案が上程され、全て原案通り可決し閉会した。

令和2年度一般会計の総額は、前年度対比8%増の6億7千767万円と、汚泥再生処理センター建設の元金償還開始に伴い、交際費が増加したものである。

主な歳出は、老朽化が目立つガス化溶融施設維持管理補修工事費の1億343万円で、各議案に対し3人の議員が「コロナ感染に伴う軽減措置の見直し」などについて質問が出された。



老朽化が目立つ焼却施設

現在の広域行政の主な業務としては、プラネタリウムと視聴覚教育センターの運営ですが、教材の貸出や機器材の貸出・利用も出来ますので、幅広く活用していただきたい。

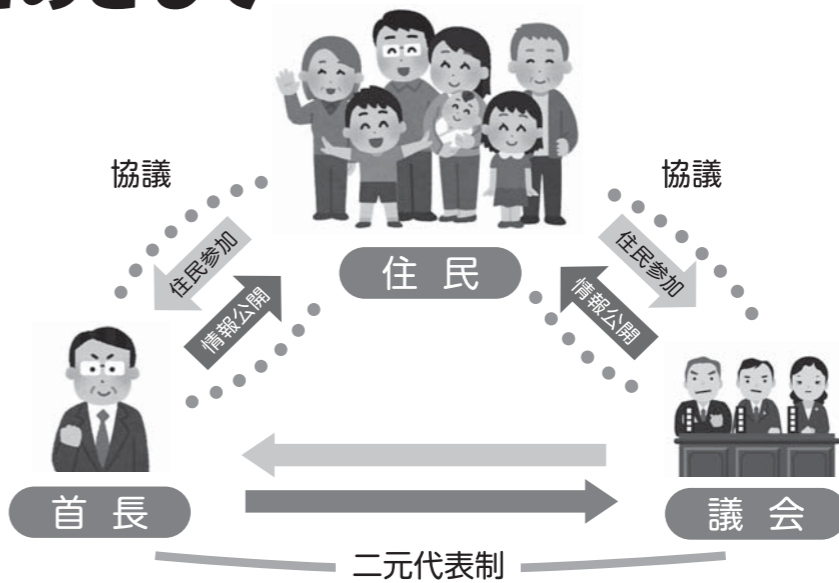


プラネタリウムの新しくなったイス

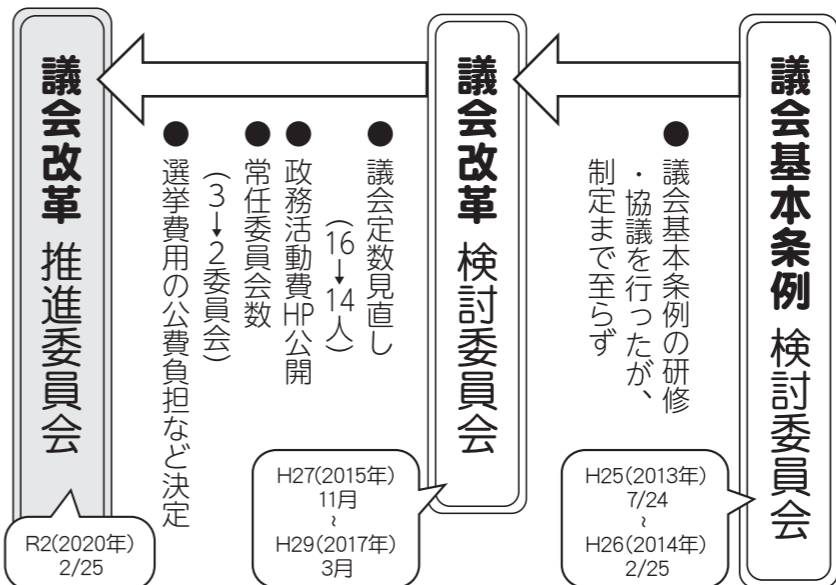
次のステージへ

2月25日全員協議会において議会改革推進委員会が設置されました。
 (委員長 伊藤浩・副委員長 小関英子)
 尾花沢を良くするために、改革の目標・柱・テーマなど話し合い、議会改革を進めていきます。

「開かれた議会」「頼られる議会」 をめざして



これまでの歩み



表彰

市表彰規則に基づき、永年にわたり市議会議員を務められた方々が表彰されました。

◎ 議員12年表彰

菅野修一 議員
加藤克彦 前議員

◎ 議員8年表彰

武田佳久 前議員
青野隆一 議員
塩原未知子 議員

議会事務局人事

議会事務局の職員が、4月1日より変わりました。

◎ 転出

総務課へ 局長補佐 吉野真広
福祉課へ 庶務・議事係主事 佐藤聡美

◎ 転入

社会教育課から 庶務・議事係長 烏陽子
再任用職員 清藤ちえみ

尾花沢小学校自転車クラブ 35年の活動に幕

2月14日、「尾花沢小学校自転車クラブ感謝の会」が、ユーローで開催された。同校自転車クラブは、1986(昭和61)年設立、2019(令和元)年まで、交通安全王子供自転車大会では、全国大会優勝2回・準優勝4回、県大会22連覇を成し遂げてきた。メンバーの減少などの理由で35年の活動に幕を閉じることになった。

感謝の会でのあいさつに立った下河辺敏弥校長は、「子ども達は血のじむような努力を毎年積み重ねてきた」とたたえ、歴代監督・指導者が熱く語り感謝した。

これまでの活動をまとめた映像の上映に最後となった4人がメッセージを強くしてくれた。「地道な努力の大切さを知った」「あきらめずに何度でも挑戦することを学んだ」「支えて下さった先輩や先生、ありがとうございました」と感謝した。

最後の卒業式

思い出をありがとう

静まった体育館に、慣れ親しんだ最後の校歌が流れました。児童や保護者・来賓の胸に去来するものは、それぞれだったと思いますが、全員に共通しているのは「134年間ありがとう」の感謝の気持ちだったでしょう。

最後の卒業生となった伊藤優誠君は、2年前に北海道から転校し、鶴子小学校が思い出の母校となりました。

学校は無くなりますが、これからは、鶴子地区の新たな活動拠点として生まれ変わろうとしています。

二十四の瞳にエール！

3月16日、玉野中学校の卒業証書授与式が行われました。同校は、昭和22年、玉野村立玉野中学校として創立し、3千8百人を超す卒業生が学びました。4月から尾花沢中学校に統合となり、73年の歴史に幕を閉じました。

最後の卒業生となった12人は、運動会や文化祭において生徒会が中心になりみんなで計画・準備を行い、地域住民と一体となって行事を楽しみ、大成功を収めました。

玉中で学んだ事を胸に秘め世界に羽ばたいていってください。

トピックス

■ 鶴子小学校 1885~2020年



楽しかった川遊び

■ 玉野中学校 1947~2020年



最高の友と最高の思い出